かみすげたささのおか

令和5年1月31日
上菅田笹の丘小学校
学校だより2月号

上菅田笹の丘小学校　学校教育目標
自分大好き　仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校

「改めて思うこと」

副校長　徳永 久美子

令和５年になり、早くも１か月が過ぎました。年々、時間の経過が早く感じられます。「時間は唯一、人に平等に与えられたもの。これをいかに有効に使うかはその人の才覚」という言葉を思い出し、一日一日を大切に過ごそうと改めて思っているところです。

先日、新聞でこんな記事を見付けました。就学前の子育てをしている母親へのある民間調査結果についてです。２０２２年と２０１５年の調査を比較したところ、子育ての情報を「友人・知人から」得ている人が７２％から３６％に、「母方の祖父母から」得ている人が４３％から２７％に減っていました。また、「イライラする」等の否定的な感情の割合が増え、「子育てで自分も成長していると感じる」「自分の子どもは結構うまく育っていると思う」という肯定的な感情の割合が少し減っていることから、以前より子育てが孤立化しているのでは、というものでした。新型コロナウイルス感染症の流行から３年が経ちますが、この間の子育ては、予期せぬことの連続で大変だったことと思います。感染症の予防をしつつですが、人との関わりの中から体験的に学ぶ機会を大切にし、かつ、保護者の方や地域の方と協力し合いながら子どもの育ちを支援したいと改めて強く思います。

子どもの育ちの支援の部分で、１０月の学校だよりで触れた「対話的コミュニケーションを取りながら自分で考える力の育成」と「自分が認められる環境や機会作り」について、本校教職員の取組をご紹介します。

・人との会話のマナーを学び、気持ちのよい対話で授業を進める。
・２～３人やグループで話し合う時間を取るようにする。自分の考えを表現したり、友達の意見を聞いたりすることで、考えを深めることができるようにする。
・タブレット端末を活用することで、どの子どもも自分の考えを表現できるようにする。
・「自分がどうしたいか」を考え、自分自身で決めていくようにする。
・互いに認め合いながら聞き合う場づくりをする。間違った解答をしても、温かく受け入れてもらえる雰囲気をつくっていく。

子どもたちは、後２か月で進級します。教職員各自や各学年の取組を学校全体に広げ、将来に向けて大切な力の育成と、進級への自覚と希望をもてるようにしていきます。保護者の皆様とも連絡を取り合いながら進めてまいりますので、どうぞご協力をお願いいたします。